



首都圏自然歩道

ガイド番号
5-5
2026年度版

関東ふれあいの道

神奈川県コース

12 丹沢山塊東辺のみち

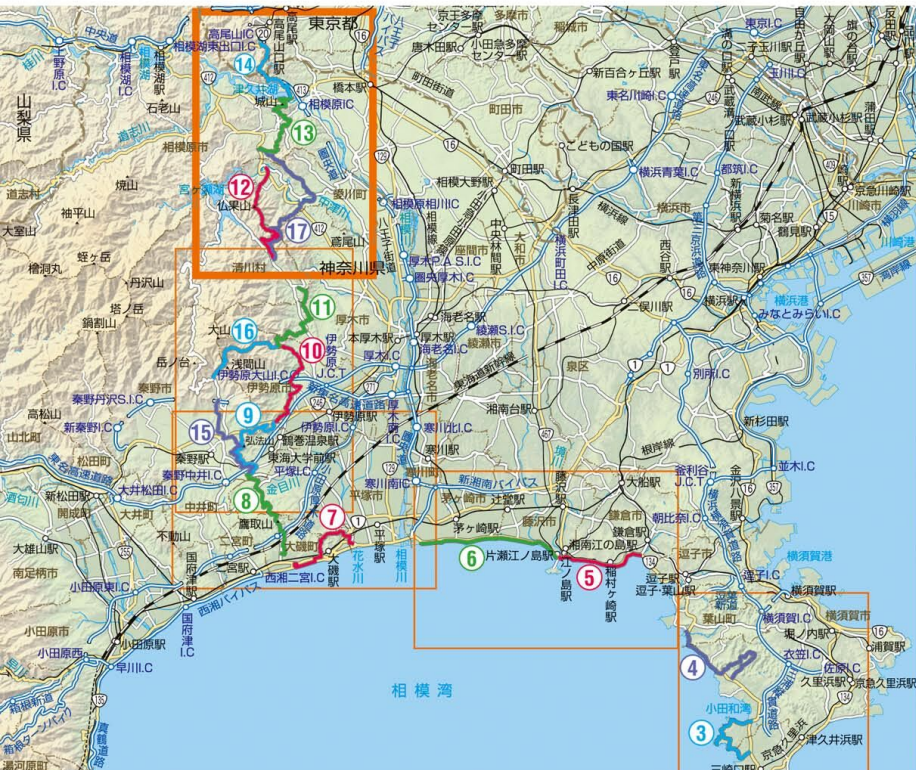
13 山里から津久井湖へのみち

14 峯の薬師へのみち

17 北条武田合戦場のみち



14番コース 三嶋神社



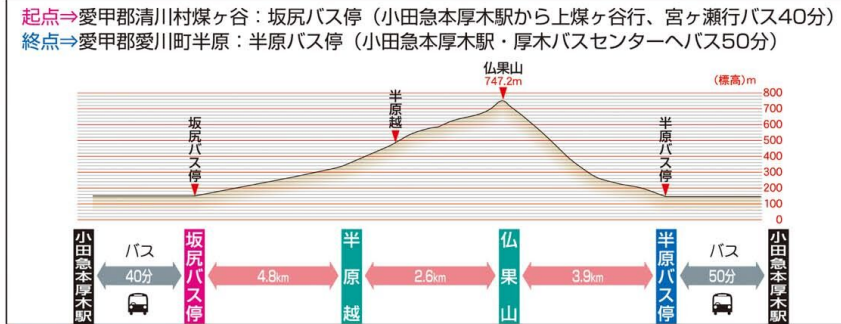
神奈川県

12 丹沢山塊東辺のみち

11.3km 所要3時間45分

丹沢山塊の東に位置する仏果山に登り、山頂からの大展望と森林浴を楽しむ山岳コースです。

このみちは 坂尻バス停から林道へ少し進んだ左手、**仏果山山頂の展望台** 半原バス停
坂尻バス停から法論堂林道に入り雑事場橋、山ノ神を過ぎ川沿いに進みます。途中左への山道は、昔の宮ヶ瀬道です。四方を山で囲まれる中に法論堂の集落があり、さらに山腹を蛇行しながら林道を進むと後方に相模野、遠く高麗山、相模湾が見えてきます。そこが半原越です。右手登山道は経ヶ岳への道、下り林道は愛川町に抜け、途中塩川滝、清雲寺へ寄ることもできます。道は左の尾根に登り、後方に丹沢山塊と大山の眺望が楽しめる展望所へと続きます。ここから仏果山までの道はきついです、その分、尾根歩きの良いさがあります。仏果山山頂からの眺めは、西に塔ノ岳、丹沢山、蛭ヶ岳、姫次、黍殻山、北に陣馬山(陣場山)が連なります。東は東京、また眼下には芦ノ湖に匹敵する2億トンの水をためる「宮ヶ瀬湖」が一望でき、これまでの疲れは吹きとび喜びを体感させます。仏果山山頂を後に馬酔木(あせび)のトンネルを一気に半原の集落に下ると、途中県立愛川ふれあいの村があります。年間を通じ野外研修や宿泊施設の場として使われています。集落の中を進み、国道412号線をくぐり指導標識に従って半原バス停へ到着です。



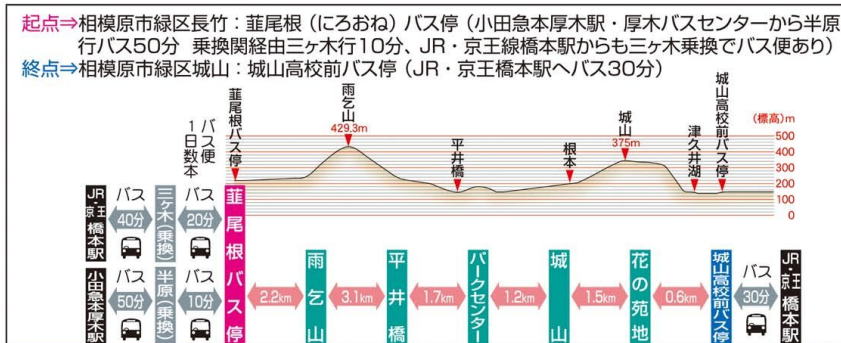
現地の問合せ先
清川村つくり観光課 ☎046-288-3864 神奈中バス厚木営業所 ☎046-241-2626
愛川町商工観光課 ☎046-285-6948

13 山里から津久井湖へのみち

10.3km 所要3時間

津久井の山里の風景を眺めながら、中世の山城の遺構・城山に登り、津久井湖の展望を楽しむハイキングコースです。

このみちは 津久井湖城山公園パークセンター(根小屋地区)と花の苑地 **城山山頂の築井古城記の碑**
半原バス停から日向橋を渡って進むと国道412号に出るので、右に曲がり国道を2km弱進むと葦尾根バス停に着きます。葦尾根バス停を後に国道に沿って少し南へ行くと案内標識があります。ここでルートを確認すると、道は国道と別れて畑や民家の散在するのどかな山里の道となります。東京農工大学の農場を通り過ぎると、いよいよ道は雨乞山へのやや急な登りとなり、コナラやクヌギなどの雑木林を抜けると、路傍サインの設置されている尾根道に出ます。尾根道を鋭角に左折して人工林の中をしばらく登ると、雨乞山山頂です。木の葉の間より丹沢の山並みをわずかに左に見て、起伏のあるやや急な坂道をしばらく下ると、稲生の桜山への分岐にです。分岐を後にさらに坂道を下ると、根小屋の集落や城山が一望できる明日原(あしたばら)の耕作地にです。串川を渡り県道を横断すると、道は根小屋の集落を通り県立津久井湖城山公園のパークセンター前にです。諏訪神社横の城山登山口から登り始めます。ここより鎌倉時代の三浦氏、戦国時代の内藤氏の居城として知られている城山への山道をしばらく登ると十字路の尾根に出ます。ここを左折して進むと城山山頂です。右折して飯縄神社を過ぎると、道は下り坂となり、途中宝が池や紅葉台を通り城山の山腹を巻きながら進むと津久井湖城山公園・花の苑地前になります。津久井湖を左に見ながら城山ダムを渡り少し行くと終点城山高校前バス停に着きます。



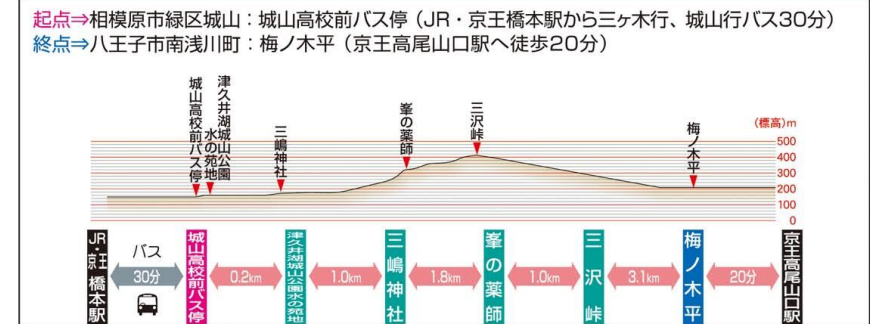
現地の問合せ先
相模原市津久井まちづくりセンター地域振興班 ☎042-780-1403 神奈中バス津久井営業所 ☎042-784-0661

14 峯の薬師へのみち

7.1km (神奈川区間4.0km 東京区間3.1km) 所要2時間30分

峯の薬師の歴史にふれながら、津久井湖や丹沢山地の展望を楽しみ、東京都に至るハイキングコースです。

このみちは 津久井湖城山公園の水の苑地、峯の薬師 **峯の薬師の鐘撞堂**
城山高校前バス停を後に、国道からダム管理事務所の角を曲がりここから約1.4km程は県道沿いのみちです。左手に津久井湖城山公園・水の苑地を見て県道を進みます。途中、コースの近くには三嶋神社があります。上中沢バス停より県道と別れると、すぐに案内標識があります。ここでルートを確認すると、道はいよいよ峯の薬師へのやや急な登りとなり、樹齢を越した杉大木の中を蛇行しながら進むと、やがて峯の薬師です。この路傍休憩地からは、樹間を通して眼下に青く静かな津久井湖、それにそそぐ相模川の清流、遠く丹沢の山並みが展望できます。ここより静かな雑木林の中をゆっくり進むと都県境の三沢峠です。途中峯の薬師奥の院や電波塔を過ぎると、右手下に城山湖があります。三沢峠からは東京都コース湖のみちを尾根沿いに進んで城山(小仏城山)へ向かうことができます。三沢峠で右折して林道を下りきると、国道に出ます。そこが終点梅ノ木平です。梅ノ木平から国道20号線を1.5kmほど下ると京王高尾山口駅に至ります。



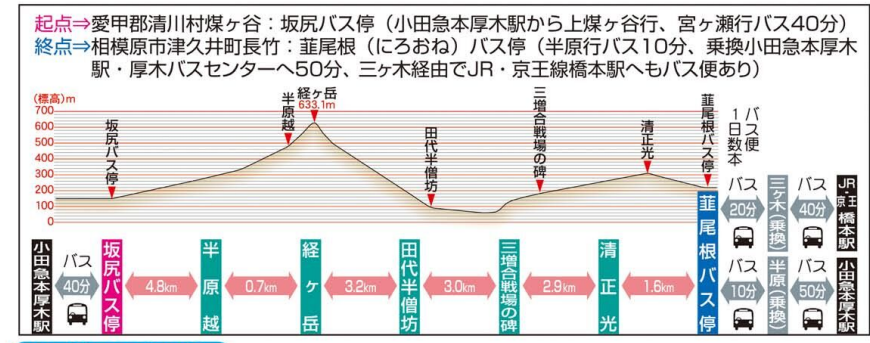
現地の問合せ先
相模原市津久井まちづくりセンター地域振興班 ☎042-780-1403 神奈中バス津久井営業所 ☎042-784-0661
相模原市城山まちづくりセンター総務・地域振興班 ☎042-783-8115

17 北条武田合戦場のみち

16.2km 所要5時間30分

半原越、経ヶ岳の展望を楽しんだあとは、今はのどかな山里になっている古戦場を歩き戦国時代に思いを馳せるコースです。

このみちは 坂尻バス停から林道へ少し進んだ左手、**三増合戦場の碑** 半原バス停
坂尻バス停をあとに、法論堂(おろんど)林道を半原越へ、昭和の初期までこの道は煤ヶ谷から半原へ『まゆ』を背負った人たちが通った重要な道でした。この半原越から、左へ登ると仏果山ですが、経ヶ岳は右へ登ります。急な木段を150mほどで快適な尾根歩きとなり、丹沢の山並みを眺めながらくさり場を登ると、大きな岩(経石)が道をふさぐように座っています。この経石をすぎるとまもなく経ヶ岳山頂です。山頂より50mほど行くと関東平野がはるか遠くまで広がり、新宿副都心の高層ビル群を間近に見ることが出来ます。これより眺めの良い尾根歩きとなり、法華峰(ほっけみね)林道へ、100mほど林道を歩くと、道は植林の中へと入り、道ノ入えん堤を越え、国道412号平坂へとつながります。国道を500mほどで半僧坊バス停に、目の前には大きな杉木立に囲まれた勝楽寺(田代半僧坊)があります。半僧坊の道を通り、県道を横断すると海底(おそこ)の集落、中津川に架かる角田大橋を渡り、左手に弁天社を見ながら戸倉の集落へと入っていきます。大きく育った杉林の中を登り、畑道をしばらく歩くと北条武田の激戦地、三増(みませ)合戦場の碑が見えます。桜並木を通り道は志田峠へ、ここより400mで清正光(志田山朝日寺)、東京農工大学の農場を眺めながら桑畑、牧草地を通り、再び道は国道412号へ、100mで終点葦尾根バス停に到着です。



現地の問合せ先
清川村つくり観光課 ☎046-288-3864 神奈中バス厚木営業所 ☎046-241-2626
愛川町商工観光課 ☎046-285-6948 神奈中バス津久井営業所 ☎042-784-0661

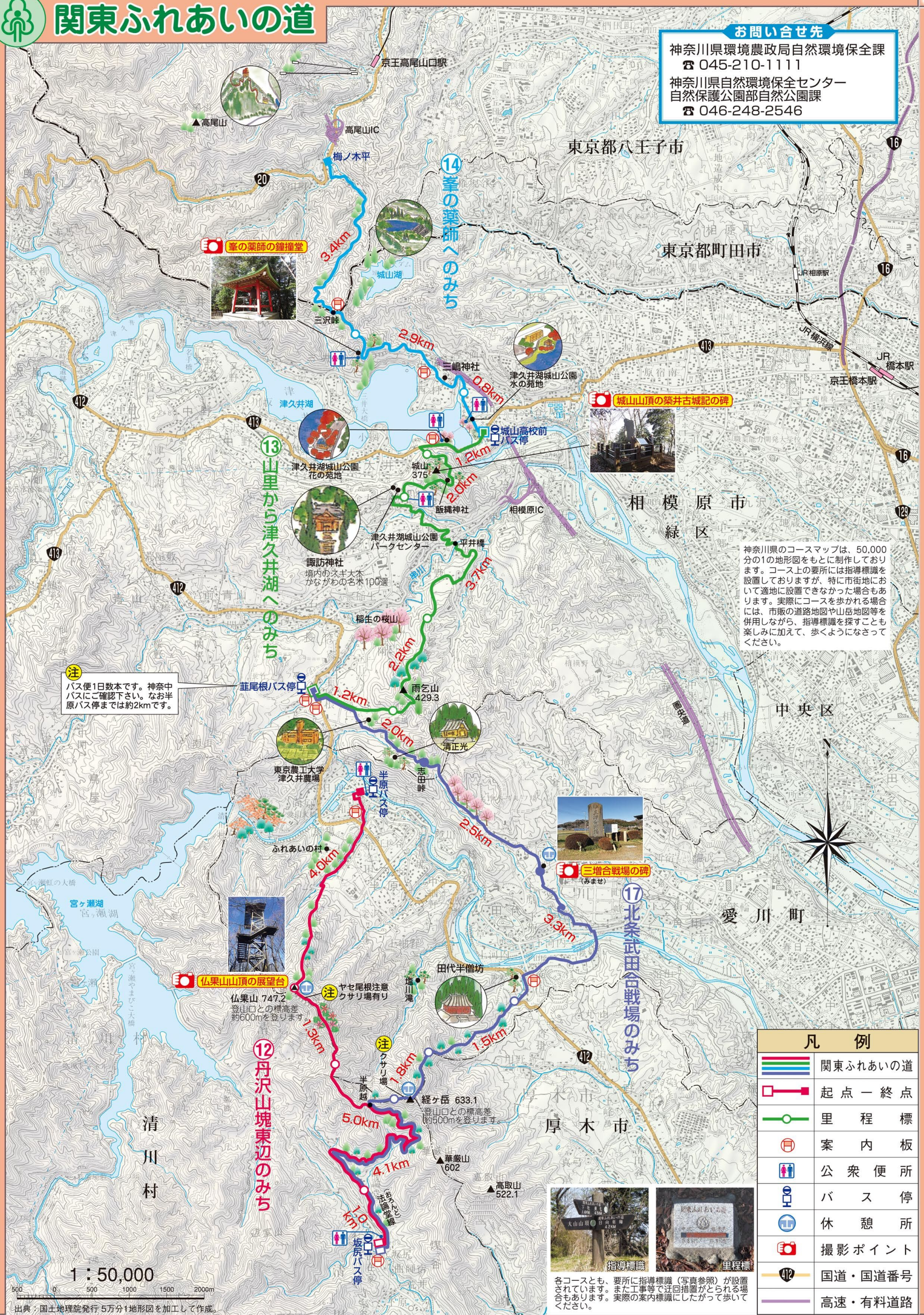
※ 所要時間はあくまで目安です。また休憩時間を含みません。山岳地域や長距離走行になると、さらに時間がかかる場合もあります。個人差もありますので、体調、天候を考えながら余裕をもって計画を立てましょう。



関東ふれあいの道

お問い合わせ先

神奈川県環境農政局自然環境保全課
☎ 045-210-1111
神奈川県自然環境保全センター
自然保護公園部自然公園課
☎ 046-248-2546



神奈川県のコースマップは、50,000分の1の地形図をもとに制作しております。コース上の要所には指導標識を設置しておりますが、特に市街地において適地に設置できなかった場合もあります。実際にコースを歩かれる場合には、市販の道路地図や山岳地図等を併用しながら、指導標識を探すことも楽しみに加えて、歩くようになってください。

注
バス便1日数本です。神奈中バスにご確認下さい。なお半原バス停までは約2kmです。

注
ヤセ尾根注意クサリ場有り

各コースとも、要所に指導標識(写真参照)が設置されています。また工事等で迂回措置がとられる場合もあります。実際の案内標識にしたがって歩いてください。

凡例	
	関東ふれあいの道
	起点 - 終点
	里程標
	案内板
	公衆便所
	バス停
	休憩所
	撮影ポイント
	国道・国道番号
	高速・有料道路